

# ごみの資源化・減量化にご協力ください！

環境保健係

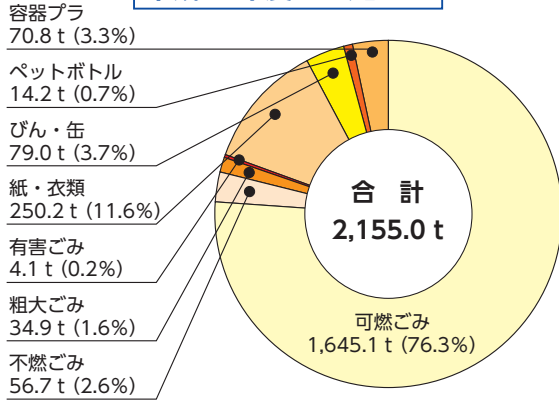
平成28年度に立科町から排出されたごみ量は、前年度比較で約21 t 増加しました。

景気の動向にも左右されるごみの排出量ではありますが、引き続きごみの減量化にご協力ください。

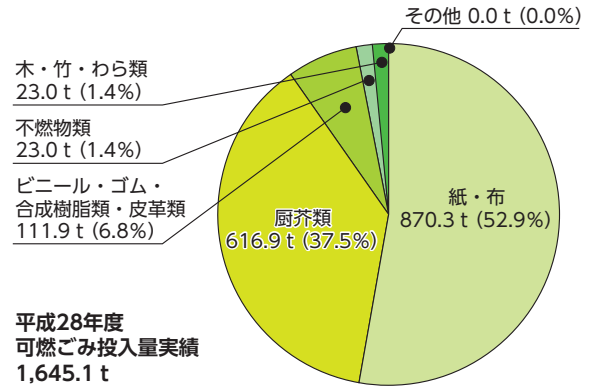
なお、立科町では生ごみ処理機器等の購入に対し補助制度がございます。生ごみの資源化・減量化として、是非、ご活用ください。

## 立科町のごみ処理状況

### 平成28年度ごみ処理量



### 可燃ごみの組成分類



町全体総排出量 **2,155.0 t** (平成27年度：2134.0 t)

町民1人当たり年間排出量 285.1kg  
// 1日排出量 781.1g (茶わん約5杯分)

人口 (平成28年10月1日現在)  
**7,559人** (外国人含む)

全町民が1日当たり、ミニトマト1個分のごみを減量すると、年間約41 tの減量化が可能です！

※ミニトマト：15g/個で換算

川西保健衛生施設組合は、立科町、東御市、佐久市が共同で維持管理運営をしており、毎年、各市町からのごみの搬入量に応じて、費用を負担しています。

ごみの排出量が減れば、町の費用負担も少なくなりますので、ごみの減量化にご協力ください。

### 1 「ごみゼロの日」 県下一斉行動について

県では、県下統一の行動日を設け、環境美化運動を推進しています。

町においても町内の環境美化を図るため、県の統一行動日を中心として清掃活動等を推進しています。

住民の皆様も各地区での清掃活動等にご理解ご協力ください。

統一行動日 5月28日(日)

統一テーマ「捨てないで明日も誰かがここに来る」

(平成28年度環境保全に関するポスター及び標語コンクール最優秀賞受賞作品 (高校生・一般))

### 2 「チャレンジ800」 ごみ減量推進事業

「食べ残しを減らそう県民運動

～e-プロジェクト～

「残さず食べよう！30・10運動」等

県では、「もったいない」を大切に、ごみ減量日本一！～美しい信州を次世代へ～を基本目標に、様々な取組みを推進しています。

ごみ減量の第一歩は身近な心がけが大切となりますので、一人ひとりが環境に対するの関心を持ちましょう！

誤 ビニール製品なので、  
容器包装プラスチック・  
ビニールの指定袋へ



### 正 可燃ごみ (赤い指定袋へ)

ビニール製品でも☑マークが無いものは、資源ごみとして収集しません。  
※☑マークがあるものは、容器包装プラスチック・ビニールの指定袋へ



ビニールひも

環境保健係

このごみの分別方法は？

